

議 事 録

会議名	令和4年度寒川町社会教育委員会議第2回公民館部会		
開催日時	令和4年8月22日（月）午後1時30分～午後3時30分		
開催場所	寒川町民センター 3階 小学習室		
出席者名、 欠席者名及び 傍聴者数	出席者：山口委員(部会長) 堀委員(副部会長) 森委員 平本委員 欠席者：菊池委員 事務局：高橋教育政策課長 山口教育政策課副主幹 指定管理者：別府町民センター館長 佐々木町民センター副館長 堂前北部公民館副館長 渡辺南部公民館副館長 傍聴者：1人		
議 題	報告事項 (1)令和4年度公民館事業実績報告（6～7月分）について 協議事項 (1)令和4年度公民館部会の協議内容について 令和5年度県社会教育委員連絡協議会地区研究会（寒川町会場）の事例 発表について		
決定事項			
公開又は 非公開の別	公 開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	<p>1. 開会 あいさつ 山口部会長 高橋教育政策課長</p> <p>2. 議事録承認委員の指名について 各回名簿順に2名ずつ依頼 山口部会長 森委員</p> <p>3. 報告事項 (1)令和4年度公民館事業報告について 事務局と指定管理者から説明 【事務局】 それでは、公民館事業実績について、前回の部会で4～5月分の報告がありましたので、本日は6～7月分について指定管理者よりご報告いただきますが、その前に前回会議で森委員より、公民館講座の分野について、秦野市の研究発表資料に掲載されていた神奈川県の調査における寒川町の実績について分野に偏りがあるので、とのご質問がありましたので、本日の資料4に令和3年度の公民館事業実績を世代別・分野別に分けた表であらためてご報告させていただきます。なお、秦野市が研究発表で使用した実績数値は令和2年度分で、新型コロナの影響で公民館事業が中</p>		

止・延期が多かった年度のもとなります。昨年度の事業実績の個別詳細は前回部会の資料でお配りしておりますが、分野別に分けるとこのような数字になります。なお、県の調査が年代別と分野別を合算した表となることと、分類項目に違いがあるため、寒川町は各項目の事業が少ないのではないかとこのように見えるので、前回森委員から事業の質について偏りがあるのではとのご意見いただきましたが、寒川町の公民館では、基本的には町の方針、もとは学びプランにあった分野ですが、町民ニーズや社会的課題についてバランスを考えて事業計画を作っていました。県はもっと大きな分け方になっていますので、環境や安全、地域のつながりづくりに関する社会的課題に関する事業について、県の調査であると分類がないのですべて成人の講座に入ってしまうので、分類方法によって見え方が違うということをご理解いただければと思います。寒川は成人の講座ばかりで趣味的なものばかりなのではないかと見えてしまうかもしれませんが、文化芸術的な講座の回数は多いこともあるのですが、実際はいろいろ社会的課題に応じた講座も実施しております。調査の項目によって見え方が違うということをご理解いただければと思います。なお、令和3年度もコロナの影響で、8～9月と1～3月に中止になった事業が多くありますので、事業数や分野の多い少ないについては、計画通りできなかったことも考慮いただければと思っております。このような分類についてもひとつ前の学びプランの分け方であったりするので、また時代にあわせて分類を見直してはというご意見もあるかもしれませんので、ひとまず現状での寒川町の分類と県調査の分類について説明をさせていただきました。それでは、6～7月分の事業実績については指定管理者よりご報告お願いいたします。

【指定管理者】 6、7月分の公民館事業について各館ごとに説明いたします。

・資料2に沿って、各館ごとに説明

【部会長】 ただいまの説明に対しまして、ご意見、ご質問はございますか。それでは私からよろしいでしょうか。町民センターにお聞きしたいのですが、「寒川寄席」は昨年度と違う落語倶楽部が変わって、アンケート結果の満足度が昨年度よりも下回ったということですが、来場者アンケートのまとめを出演いただいた落語倶楽部には送ったのでしょうか。

【指定管理者】 はい、集計したものをお送りしています。今回は初めてだったのですが、あまり満足いただけなかったお客様もいたことはお伝えしました。次回はもっとがんばってくださいではないのですが、良い意味で奮起を促すようお願いをやりとりいたしました。

【部会長】 落語とか切り絵とか楽しいと思いますが、厳しい意見だったんですね。

【事務局】 報告書を見た時に実績報告で指摘しなければならないほど不満だとは思わなかったのですが。昨年度と比べたら若干低いということで大多数ではなかったと思うのですが。

【指定管理者】 全員ではないのですが、切り絵とウクレレ漫談と落語二席で、そのうち一席の方はキャリアが浅かったのか、その方に対する不満が自由記述に何人かご指摘がありました。出演者4人のうち1人に対する不満が高かったのではないかと感じて

います。

【部会長】 北部でも寄席をやるので参考にしたいと思います。もう一つ南部の講座からサークル化したということは大変喜ばしいことだと思います。サークルになった「おうちで簡単パン作り」は5名いらしたということですが、当日の講師の方がサークルも指導するということですか。

【指定管理者】 はい、そうです。

【部会長】 では講師も了解しているということですね。

【指定管理者】 他の講座もサークル化に至れば、その講師にお願いしています。

【部会長】 講座から良い流れができていたと思います。ありがとうございます。

【委員】 イングリッシュキャンプについてお聞きしたいのですが、昨年は1・2年生と3・4年生の講座を見学させてもらい、5・6年生はコロナで中止してしまったので見学できませんでした。今年は都合がつかなかったの見学はしていないのですが、1・2年生は参加者がほぼ100%、あるいはそれ以上ですが、5・6年生になると極端に落ちるのはどうしてでしょうか。5・6年生がどのような形でやられていたのかは見ていないのでわかりませんが非常にもったいないと思います。1・2年生では英語に親しんでいるというお子さんもいれば、全くそうでもない子もいました。最初はとっつきにくいかもしれませんが徐々に慣れていきゲームに参加していたのが昨年見た私の感想なのです。年代が上がっていくと参加者が極端に落ちるといったのは何か原因があるのでしょうか。授業とは違う英語のおもしろさが伝わらないとせっかくやっているのもったいないと思います。

【事務局】 英語だからというのではなく、公民館の子どもの講座は高学年になると参加が減っていく傾向があるもので、学年ごとにわかれているとそれが顕著に見えることはあります。もともと子ども向け講座の参加は1~4年生くらいが多いです。

【委員】 だからしょうがないではなく、せっかくやるからには1・2年に参加した子が5・6年になっても参加してもらえるように繋いでいけばいいと思います。

【事務局】 来年も参加したいと思ってくれるようになればありがたいと思います。

【委員】 今後はどうなるのかわかりませんが、極端に落ちていることが気になります。

【事務局】 昨年は3・4年生が1コースしかなかったもので、落選した方が多かったので今年は2コース設定しました。今年は希望者の方は全員参加いただけました。7月に入ってコロナの感染者が増えてきたこともあり、申込したけれどやめておきますという方もおりました。これまでのイングリッシュキャンプという名称でなくても子ども英会話という事業でやっておりましたが、3・4年生の応募が多ければ、5・6年生になっても参加したいという気持ちになるようにPRに努める必要もあるのかと思います。

【委員】 昨年、講座の様子を見ていたので、すごくもったいないと思いました。

【事務局】 昨年町FLTの人数が増えて8人になりましたので、指導の面では厚くなったかと思います。今年楽しいと思った子ども達がまた来年も参加したいという気持ちになってチャレンジしてくれると良いのですが、そうなるように主催者としてもがんばらなくてはということですね。

【部会長】 小学生の英語の授業は5年生からになったのですか。

【事務局】 たしか3年生からになったかと思います。

【部会長】 では3年生から授業でもやっているということですね。5・6年生は参加しないというのはあまり興味が持てないからですかね。

【事務局】 高学年になると塾に行く子も増えているからかもしれません。

【委員】 英語の授業というと文法だとかそういうところから入るから我々もそれから習っているからいまだに拒否感があるのですが、そうではなくて英語に親しむ場になってほしい。ある大学の先生が受験ということを考えると文法などが試験で大切になってくるけれど、会話などにはつながらないというのを目にしました。授業ではなくて、英語は楽しいということを伸ばして、親しんでくれればと思います。

【事務局】 町内全8校に行っているFLTの先生が全員来てくれるので、自分の学校の先生に会えて、参加した子ども達は楽しそうに和気あいあいとしていましたが、申込みまでのきっかけですね。FLTの先生は皆さん学校の人気者なのであの先生がいるから参加したいという気持ちになるようになるといいですね。

【部会長】 イングリッシュキャンプは夏休みだけの講座ですか。他の平日にはできませんか。

【事務局】 夏休み以外の平日は、FLTの皆さんは学校で授業があって、土日は勤務外になってしまうので、夏休み時期だけとなっております。

【部会長】 小学生に関連する事業についてお聞きしたいのですが、北部の七夕飾りや子ども実験教室の対象は低学年ですか、それとも全学年ですか。

【指定管理者】 対象は全学年です。

【部会長】 来ている子ども達は低学年が多いですか。

【指定管理者】 参加者は低学年が多いです。

【委員】 子ども実験教室は私も見学に行きました。参加者は1～5年生で6年生はいなかったと思います。一之宮小学校や寒川小学校の子ども達も参加していました。缶つぶしやブーメランの体験などあり、ブーメランは時間がかかってうまくいかなかった子もいましたが、楽しそうにやっていて良かったと思いました。

【部会長】 高学年になると参加は少なくなるのですかね。

【指定管理者】 イングリッシュキャンプと同じで、やはり高学年になると少ないです。

【部会長】 足が遠のくということですね。わかりました。他にはいかがですか。

【委員】 町民センターのグランドピアノが弾ける事業はとてもいいですね。せっかくグランドピアノがあるので寝かせておくのはもったいないですから、とてもいいと思いました。これは組となっておりますが、1人ではなくて家族とかで来るのですか。

【指定管理者】 1組5名までであれば、親子でも友達でももちろんお一人でも大丈夫ということにしました。1組1時間1000円は近隣の他の施設の例を参考にして、他は2000～3000円なのですが、うちは少し低くしてみました。舞台に反響板も組んで、本当のコンサートと同じ環境を作って演奏できるようにしました。

【委員】 本当に良い新規講座だと思います。もう一つ、北部公民館のシニアクラスの「ニュースポーツ講座」はどんな内容だったのですか。

【指定管理者】 これは山口委員の方が詳しいかもしれません。

【部会長】 ボッチャとスリーアイズをやりました。ボッチャはパラリンピックの種目にもあったのでご存じかもしれませんが若い方から高齢者まで楽しめるスポーツです。ほかにもスカットボールというゴルフに似たものもやりました。シニアクラスの最初

で仲間づくりを含めて行ったのが経緯になりますが、コロナの状況で参加者が少なくなつたのが残念でした。

【委員】7月21日に全館で夏休みの学習室開放をしたのですか。

【指定管理者】これは7月21日からで、8月31日までやります。書き方がわかりにくくて申し訳ありませんでした。ここには7月末までの実績を入れさせてもらいました。

【委員】あまり知られていないようなのですね。

【指定管理者】南部公民館は7月に利用がありますが、館によって差があります。

【委員】北部は7月の利用がありませんね。コロナでロビーも15分しかいられないということにしているからですか。

【指定管理者】学習利用は別扱いで、ロビーでお話する目的では短時間でお願いしています。

4. 協議事項

(1)令和4年度公民館部会の協議内容について

令和5年度県社会教育委員連絡協議会地区研究会（寒川町会場）の事例発表について

【事務局】それではご説明させていただきます。前回6月の公民館部会では来年の地区研究会での事例発表にむけて、今年、来年の公民館部会で協議していくことを確認させていただきました。その中で、どのようなことが発表テーマとできるかいくつかご提案をいただきました。本日、机上配付させていただきました資料6に、前回の出たテーマ案を記載しております。これまでの部会で協議してきたことのまとめを基に肉付けしてはどうかとのご意見がありましたので、資料3の1から3までが過去4年分の協議事項のまとめとなります。本日は、前回の部会でご提案いただきましたテーマ案のほかに新しい提案があるかどうか、出された全ての案の中からテーマ選出、方向性を決めるということはどうでしょうかということを事務局からまず提案をさせていただきます。よろしくお願いたします。

【部会長】ただいま事務局から説明がありましたが、令和5年度の地区研究会の発表テーマについて、前回の会議で出てきた意見が、①昨年まで公民館部会で協議してきた公民館サークルの活性化についてのまとめを発表用に再構成、②学校や地域の団体などの連携した公民館事業について、③寒川の特徴的な事業に関することについて、④コロナ禍での公民館活動の変化についての以上、4つの案がありました。これが資料6にありますが、本日は、この他に委員の皆様から別の発表テーマの案がありましたらご意見を出していただき、出されたすべての案から発表テーマの選出と方向性を決めていこうと思います。それではまず、発表テーマについて新しい提案がありましたらお願いたします。いかがでしょうか。

【事務局】資料6の③の記述が誤っておりまして申し訳ありません。「寒川の特徴的な事業に関することについて」になります。これは以前の県の発表会で寒川町の公民館の特徴的な事業として子どもフェスティバルの発表をしたことを例にしています。

【委員】地区研究会の発表はいつ行うのですか。

【事務局】来年の11月から2月のいずれかですが、先日、県に確認をしましていつ頃

までに日程を決めるのか確認しましたところ、寒川の他もう1地区ありますので、また追って連絡しますとのことでした。おそらく11月か2月のどちらかになるので、早ければ11月というつもりで準備していった方がよいと思われます。

【副部長】 場所はどこになりますか。

【事務局】 町民センターホールになります。

【部長】 他にはいかがでしょう。

【委員】 内容をあまり広げていってもどうなのかなと思います。

【部長】 私も社会教育委員の公民館部会になって5年目になりますが、最初の時に公民館を広く活用されるように検討することになって、リーフレットが発行されるようになりました。コロナのため予定より1年遅れになってしまいましたが、公民館をいかに多くの方に利用してもらうための方法があるといいのかなと思っています。そのためにリーフレットも作り、6月と10月のサークル入会体験フェスタについてもいいと思います。これはいつから始まりましたか。

【指定管理者】 これは指定管理の初年度の平成29年度からやっています。時期は5月だったり6月だったりしますが、春と秋の年2回開催しています。

【部長】 サークルに加入する人も多少は増えましたよね。あとは公民館講座からもサークル化になっています。こういうことをやって公民館の活性につなげたとか、情報の発信もこれまで館内にポスターや掲示板に張っていたものが、SNSやLINEで発信するようになったのも最近ですよ。公民館の利用状況ということで、その資料を出してはどうでしょうか。それを行ったことによりどれくらい人数に変化して成果につなげていったかを発表してはどうでしょうか。今後は課題としてこういうことが考えられるとか、シニアクラスやだがしや楽校の例や、公民館まつりもどうでしょうか。公民館まつりは他の地区でもやっていますか。

【事務局】 公民館まつりは他の地区でもたいていやっていますね。ただし時期はいろいろです。寒川のような寒い時期はあまりないかと思います。

【委員】 他の市町でもやっていますね。

【事務局】 公民館数が多い自治体は春と秋に時期を分けて開催していますね。

【部長】 寒川独自でやってきたことをまとめていってはどうですか。

【副部長】 公民館まつりは他の地区でもやっているようですが、主催はどこですか。

【部長】 他の市町村ですか。それは調べてみないとちょっとわかりません。

【副部長】 寒川は3公民館ありますが、利用者の会が主体でやっています。公民館はそれをサポートするという形でやっています。公民館の利用者の会というのは他の地区でもやっているのでしょうか。

【事務局】 それはおそらくあると思います。それぞれ活動する公民館に登録して、サークル同士の活動日がぶつからないように調整していますので、寒川の公民館は部屋の予約がインターネットでできますが、他の自治体では対面での抽選会をやっているところもあります。コロナで休館した時に、公民館の利用再開の受付をどうしようと他の自治体から相談の電話をいただいたこともありました。寒川町では休館期間中もネット予約で受付はしていて、臨時休館が延長した時にはサークルにその都度を連絡していました。他の自治体は再開する時に、全サークル集めて抽選会も難しかったのでどう調整するか困ったと聞いています。施設のネット予約も寒川町は早くから導入し

ていたので、利点がありました。

【副部会長】 2ヶ月前から予約ができます。寒川は進んでいます。

【事務局】 寒川の公民館はサークルの数がそれほど多くないので、毎月活動ができていますが、他の大きい自治体だと登録団体が多すぎて、場所のとりあいで今月は場所がとれないこともあると聞いています。他の自治体の公民館まつりはどのように開催しているのか、おそらく登録している団体や、地域の学校にも協力してもらっていると思います。小学生の合唱の発表をしてもらうという例もあると聞いています。学校もとりこんだ地域の実行委員会というようにしているかもしれません。

【部会長】 ほかにはいかがですか。先ほどの追加になりますが、資料3-3について、平成28年度からの団体の利用者数がありますよね、来年度発表なので、今年度の実績数が出るようになりますが、この辺りからも読み取れることがないでしょうか。令和元年度と2年度はコロナの関係で減っていますが、先ほどのPRをした結果で増えていればよかったですと思います。コロナで読み取れない部分もあるかと思いますが。もう少し集計を細かく見ることであれば、先ほどの利用団体数も減っているところもあるとか、または講座で利用者が伸びてサークル化に繋がっているとか。北部でもいくつかサークル化しています。その辺りも集計していただくと何か見えるのではないかと思います。

【事務局】 そうですね。確かにサークルの登録状況は合計数字だけみると変化がわかりませんが、実際は脱退した数と新規に増えた数が同数だったりして、増減を入れた方が変化はわかるのかもしれない。

【指定管理者】 確かに新しく立ち上がったサークルもあれば、解散したり無くなったりしているサークルもあります。

【部会長】 それは高齢化ということですか。

【事務局】 コロナが引き金になってここで解散という決断をしたり、料理サークルは活動中止したりと聞いています。実習室が使えないということで一時的かもしれませんが、利用者の会からは脱退したところもあると聞いています。

【委員】 実習室が使えないのは大きいですよ。

【事務局】 先ほどの公民館事業の報告にもありましたが、南部公民館では新しいサークルが3つ立ち上がっているという状況もあります。連続講座だとサークル化になりやすいのですが、1回講座でサークル化になるのは公民館側の後押しが強力だとは思いますが、すごいことだと思います。またコロナによって、地域でできる趣味をみつけないかと思っている方はけっこういらっしゃるようなので、これを機に若い方が公民館サークルや公民館活動に参加していただけることは嬉しいです。

【部会長】 それが資料6の4つ目にある「コロナ禍での公民館活動」につながってくると思います。サークルになるのは女性が関わるものがどうしても多くなりますね。本当は男の方にも入っていただきたいと思うので、北部のシニアクラスを退職された方が家から外に出る機会になるよう参加してほしいと始めたのですが、やっぱり女性の参加が多いです。

【事務局】 男性向けとしては町民センターの歴史講座は年に2回ほどやっていただいておりますが、これは男性の参加が多いです。サークル化にはならないのですが、公民館に足を運びきっかけとして男性は増えたような気はします。感覚的なものでしかあ

りませんが。

【部会長】前にレコード鑑賞の講座もありましたね。

【指定管理者】はい、まだ1回しか開催していませんが、その講座は男女半々くらいでした。男性もご自分の好きなレコードをお持ちいただいて、思い出も語っていただきました。

【部会長】男性だけでサークル化になるものは難しい部分がありますね。講座であればパパと体力測定というものもありましたが、参加者が来なかったということで中止になったそうですが。それが課題の一つかもしれませんね。

【指定管理者】男性の働き盛りの層の参加は難しいですね。一番入って来てくれません。

【事務局】最近、育児休暇を男性も取得するような流れになっておりますので、北部の七夕教室には父親との参加者もいたと報告がありました。図書館のおひざにだっこのおはなし会という乳児向けおはなし会の日曜日開催にはお父さんと赤ちゃんという参加も数年前から増えているようです。お父さんが赤ちゃんと一緒にいる間に、お母さんは自分一人で本を選んだり読んだりできる、ちょっと息抜きできる時間となっているようです。お父さんと赤ちゃんが参加しやすい行事を作ると、そこでパパ友ができて、地域で仲良くなれるきっかけにもなるのではと思います。そういう機会もあるといいのかな、と思います。

【部会長】働き盛りのお父さん単独の講座というのは、休みが基本的には土日しかなくて、その日は家族で何かするとか、休みたいとかなかなか難しいとは思いますが。それこそ課題ですし、あとは中高生、小学校高学年になると公民館には足を運んでくれなくなるという、講座も含めて考えていくのもこれから必要なのかなと思います。

【事務局】先ほどの報告の中でお伝えし忘れてしまったのですが、夏休み事業に「梶原景時で自由研究」という講座を企画して広報に掲載して募集をしました。これは小学5年生から中学1年までが対象だったのですが、応募が全くなく、7月はコロナ感染者が増えた状況もあり、開催を中止しました。高学年を対象にして事業を打つと、なかなか参加者集めが難しいということを実感しました。チラシなどを配っても反応は芳しくなかったです。

【委員】中学生向けというのは集まらないというのはありますが、講座もあまり目につきません。小学生向けは先ほどの北部の科学実験講座のようにいくつか目にはしています。小学生くらいだと本人は知らないけど、親が申し込んで、何をするかわからないけど来たという子もいました。

【事務局】小学校高学年になると親が申し込んでも行かないという年代になってきているという話も聞きます。もう親に言われて素直に行かないようです。

【委員】確かに小学生の真ん中以下の学年あたりだと、親に行きなさいと言われてれば行くかもしれません。

【部会長】2018年の公民館部会の資料に夜間のサークル、今はあるかわかりませんが、高校生のダンスサークルや小学生のジャズ体操などダンス関係であれば、サークルの方が講師となっていただいて講座をやってみてひきつけるというのも一つの案かもしれません。それをやってみてどのような結果になるのか、こういう時代なので、できない部分もありますが。マスクをして暑い中踊るのは難しいかもしれませんがこういうこ

とにちょっとチャレンジしてみると次につながるのかもしれませんが。

【事務局】 部会でテーマを出して、事例研究というか企画をしてみて、その結果を分析や発表するという方法もあります。中高生向けの講座を企画してやってみよう、ですとか。

【部会長】 それぞれ年代別の講座を企画してどうだった、とかもできると思います。あと1年半くらいありますので。

【委員】 1年しかない、じゃないですか。

【部会長】 年間計画になくても、今年新しく企画しても大丈夫ですか。

【指定管理者】 広報の募集に間に合えば可能です。広報の締切が早いので2ヶ月前に用意が必要です。

【事務局】 今は8月ですが、広報はもう11月号の締切がまもなくです。年明けの講座であれば間に合います。

【部会長】 このような講座がありますというのは掲示板のポスターで見る人が多いようですが、最近はSNSで登録している数もわかるのですか。

【事務局】 公民館が利用しているSNSはフェイスブックですが、町ではツイッターとLINEがあります。公民館事業をホームページやフェイスブックから知って申し込んだという方はこれまで少なかったのですが、今年度から公民館のホームページから申込ができる機能を追加し、この夏から子ども向け講座でインターネット上での申し込みを開始したところ、若い子育て世代にはスマホから申し込めるというのは好評で、利用が伸びましたので、これを機に子ども向け講座は公民館のホームページを見ればいろいろ申し込めるということが浸透すれば、利用が伸びることが期待できると思われます。逆に成人向け講座は今まで通話と窓口受付だけでいいのかということもあります。スマホ申し込みになると参加者が減ってしまうということにならないかと懸念もあるもので、対象年代によって、申込方法を使い分けるようにした方がいいと思っています。

【委員】 しばらくはそうしないといけませんね。どちらかだけという訳にはいかない。

【指定管理者】 子ども向け講座は圧倒的に二次元コードでの申し込みから入ってくる方が多いということがわかりました。

【部会長】 2018年の資料の参加者のメディア利用状況ではホームページはほぼ0で、広報、ポスター、チラシで、ときどき知人等の紹介となっていました。これも一つの資料になるのではないのでしょうか。どのように変化したのかということが。

【事務局】 その資料も毎回公民館がアンケート集計しておりますので、今年度の状況と比較することができます。昨年度版をお出しすることができますが、昨年度の時点だとまだ圧倒的に広報から知ったという結果になると思います。この夏の報告書から変化が出てくると思います。その辺りの差を見せるという方法もあるかと思っています。

【部会長】 この講座はSNS、インターネットで知った子どもが多いとか、大人との比較を見てもいいかもしれません。

【指定管理者】 もちろん、高齢者だからスマホ申し込みはいらないだろうとは考えておりませんが、窓口を増やすということはマイナスではないと考えています。

【部会長】 どのあたりの年代から有効になるのかわかるとと思います。それもアピールできるところかなと思います。

【事務局】本当にそうだと思います。寒川町はいまだに掲示板の効果が大きいということが実感することもあります。SNSとかインターネットで情報を取るというのはアンテナを張っている方は当然自分で情報を探して見つけているのですが、掲示板は町を歩いていてふと目に入る情報というのが効果的で、町民の方とお話していると掲示板で見ましたよ、と言ってくれる方も多いです。それこそ7月10日の大河ドラマのトークショーも実はいろいろな事情があり、広報に掲載できなかったのですが、町民にイベントをお知らせするために町内掲示板全てに貼りに行き、目にしてくださいました方、タウンニュースにも載せてもらって記事を見ましたと伝えてくださる方もいました。そんなイベントやってみることを知らなかったという声は幸いにも聞きませんでした。申込は往復はがきだったので、すぐ申し込みできるかというハードルは高かったのですが、周知に関しては寒川であれば掲示板は強いと感じました。

【委員】タウンニュースは皆さん結構見えています。ああいうのが載っているのはいいですね。

【事務局】地域の情報を集めようと思ってくださる方にはタウンニュースは結構ご覧いただけているようです。

【部会長】ほかにはいかがですか。

【森委員】やっぱり発表する時に数字というのが大事だと思います。ただ漠然と言葉だけ並べていても説得力がない。昨年の分と来年の分までは数字が出せると思います。

【部会長】あまり細かすぎてもいけませんし、どういう数字を集めるか。

【森委員】いや、流れとして、発表するのであれば数字が必要だと思います。

【事務局】ただし、数字としては今年度事業までの分析になると思います。来年度は途中になってしまいますので。その途中の数字を皆様の発表でどの時点でどう使うかにもよりますが。

【部会長】発表する印刷物には載せられなくても、口頭で、現時点では増えています、というような話をすることはできると思います。

【事務局】基本的には講座の実績とかアンケート結果は毎月報告が出ていますので、数字を積み上げることはできます。サークルの数も年度ごとにありますので。

【部会長】それぞれの公民館の集計結果は教育政策課にあるのですか。

【事務局】はい、講座の実績はあります。サークル数についてはこれまで報告ではいただいていたので、今後は年度報告書に3月末の登録数を入れていただくようにいたしました。

【部会長】今後はそういう数字がわかると話が進むと思います。

【事務局】次回の会議では公民館に関する数字をお出ししましょうか。もしくは部会長が冒頭でお話いただいたように、これまでの部会のまとめのようにサークル活性化の方法について、サークル入会体験フェスタの様子ですとか、公民館リーフレットを新たに作ったことですとか、これは今年度末、4月1日発行になりますが、また新しい版ができます。今度はどのようなものを載せるのかということにもなりますが、それを改めて検討するのもよいかもしれません。

【部会長】公民館へ行ってみようというのを、講座に来た人々にこれを見ているか聞いてみるのもいいかもしれません。

【事務局】例えば、4、5、6月の講座のアンケートで集計するというのもよろしいか

もしれません。

【指定管理者】年度の当初は入れた方がいいかもしれませんね。

【部会長】そうすれば4、5、6月分でご覧になった方を分析できます。

【事務局】それは確かにありますね。

【部会長】それでは時間もありますので、これまで提案いただきました中から発表テーマについて絞り込みしていき、本日の部会で、地区研究会の発表テーマの選出と今後の協議の方向性を決めてまいります。本日、かなり案が出たと思います。このテーマがいいのではないか、というものがありましたらお願いします。いかがでしょうか。今日、発表テーマを決めなければなりませんか。

【事務局】そこまで絞り込めればというところではありますが、今日の協議で資料6の1つ目の「これまで公民館部会で協議してきた公民館サークルの活性化を基にしてまとめを発表用に再構成する」になりそうですが、このようなことも入れてはというのもありましたら。

【委員】発表時間はどれくらいですか。

【事務局】1テーマ30分程度になると思います。発表が2つあり、質疑応答の時間も入りますので。

【部会長】公民館部会の発表をして、次は図書館部会というように2つの発表を別々にしますか。

【事務局】はい、別々のテーマとなりますので。

【委員】時間は結構長いと思います。婦人会でも研究発表大会でやっていますが、25分くらい話しますが、パソコンを使ってスライドを作りますか。

【事務局】そうですね。発表は画像を見せながらになります。そこで時間は稼げます。

【委員】寒川独自のことを、寒川の紹介を載せてはどうでしょうか。

【事務局】寒川町の紹介を2つの事例発表の前に行う方法もあります。寒川町の人口の概要ですとか、公民館の数ですとか、導入で話してからそれぞれの部会の発表をするというのもどうでしょうか。前回お配りした秦野市の発表もそのような感じかと思えます。市の概要から、公民館活動と団体活動の発表になっていました。その辺りを5分くらい入れて、それぞれ部会の発表を20分くらいになるかと思えます。

【副部会長】他の地区の資料を見ると、冊子も作るのですか。

【事務局】はい、発表の資料は作成します。当日の発表のレジメは配付します。

【部会長】前の公民館大会の資料を見ていて、寒川は平成13年度に発表を行って、参加者440名、この時の研究主題が「21世紀の公民館活動を考える～地域における世代間交流の創造を目指して」、事例研究に「寒川町の生涯学習体制」、あと前に話しました子どもフェスティバル、公演で「寒川が生んだ世界的なハーモニカ奏者を迎えて」ということで2時間ほど行っているようです。そのような感じですか。

【事務局】はい、そのようなイメージになると思います。それは公民館大会でしたが、社会教育委員地区研究会も同様です。アトラクションなどもどのようなものをするのかを今年度中に案を決めておきたいと思えます。

【部会長】今日、発表テーマを決めておかないといけませんか。

【事務局】今日決まると、次回からの話し合いが進みやすくなります。

【部会長】資料6の4つの項目をうまくまとめていくようなものでどうですか。地

域と学校との連携について今日は広がらない部分でありましたが、これもあるといいと思います。寒川高校との連携ですとか、学校の数も少ないですし。

【事務局】いくつか事例はありまして、今年の秋に関東甲信越静公民館大会で、寒川町民センターの別府館長が事例発表をするのですが、これはその地域連携の話題がテーマとなります。

【指定管理者】その中に子どもフェスティバルも入れる予定です。

【事務局】それは関東甲信越静公民館大会でのテーマになりますが、来年度の地区研究会では公民館サークルの活性化を取組やコロナ禍でこのように公民館活動をやってきたということの話を入れて、これまで部会で検討してきたことを再構成してはどうでしょうか。

【部会長】あまり広げすぎてもね。

【委員】まとまらなくなるからね。

【部会長】中学校の琴の演奏や吹奏楽の演奏を呼ぶことで、保護者が公民館に足を運んでくれたというのは入れてもいいと思いますが、あまり広げすぎてもと思います。地域や団体連携を除いた3つで構成してはどうでしょうか。発表テーマはいいのがありますか。

【委員】平成13年度のテーマはすごいですね。

【部会長】ありきたりではつまらないですね。

【事務局】タイトルについては過去の部会のまとめの資料も参考にして、このタイトルから何か膨らませるとか。

【委員】いつもと違うようなテーマがいいと思います。

【部会長】つどうまなぶむすぶ公民館とか。

【委員】なかなかできませんね。

【事務局】昨年度は「公民館サークルの育成支援について」でした。一昨年は「町民n学びを支える公民館のあり方について」にしましたが、これはテーマの幅が広すぎると言われました。これだと何を話していいかわからないと言われましたので、令和3年度は的をしばって公民館サークルにしました。その前は「すべての世代が集う公民館を目指して」というテーマでした。

【委員】テーマは公民館部会と図書館部会の上に大きなものを作りますか。

【事務局】それはなくても良いかとは思いますが、そうすると大テーマにあったそれぞれの発表をしなければならなくなります。それぞれ別のテーマで、寒川の社会教育の取り組みとして2つ事例発表をする形でいいかと思います。

【部会長】2年間ずつやったことが繋がっているようで、繋がっていませんね。公民館に足を運んでくださいというのが最初の2年間で、次の2年間はサークルが減っているのでそれを活性化しようということなので、繋がっていませんね。それをうまく合わせてできるでしょうか。

【事務局】そうすると平成30・令和元年度の「すべての世代が集う公民館を目指して」というテーマにして、足を運んでもらうためにどういう取組をしてきたかということと、実際にはコロナ禍でこういう状況だったということ、それからサークル育成のためにはこういう取組をしたということ、と繋げてはどうでしょうか。

【部会長】その中で情報発信とかPR方法も入りますし、サークル活動の活性化も入れ

て、講座の発信からサークルのつながったにできますかね。

【事務局】資料6の下に表がありますが、テーマを決めて、起承転結のように、現状があって、課題があって、周知の方法や、公民館サークルの減少の課題があって、課題解決のためにこういうリーフレットを作ったとか、サークルフェスタを開催したとか、このような取り組みをやっていったということを分析し、結果をまとめてはどうでしょうか。

【部会長】さらによい発信方法があれば教えてください。

【事務局】次回以降、中身について追加するアイデアが課題と取組をあれば付け加えてはどうでしょうか。

【部会長】それでは「すべての世代が集う公民館を目指して」というテーマでいかがでしょうか。

【委員】それでいいと思います。それから繋がりますから。

【部会長】現状で公民館利用者が減っていき、コロナもあり、それだからこそ公民館で仲間づくりをしたいという事にも繋がってくるということですかね。なんとなくまとまっていますかね。イメージわきましたか。

【委員】何とかつながるんじゃないですか。

【事務局】公民館は毎年冬に利用者アンケートを取りますので、その分析もできるかとは思いますが、ちょっとそれは4月に発行したリーフレットのことを12月に聞くのは遅すぎますね。

【部会長】アンケート結果もうまくピックアップして使えるといいのですが。私は4年間やってきてなんとか話が繋がっているような気はしているのですが。

【事務局】今日出た意見から次回以降、数字を出すなどして、課題に対して公民館での対応をまとめていきたいと思います。

【部会長】次回12月まで皆さん考えてきてください。要望として先ほど申し上げた資料を早めに送っていただき目を通したいです。本日の協議はここまでといたします。

5. その他

・ 次回の部会の開催予定について

公民館部会 12月15日(木)午後1時30分～

町民センター1階 会議室

・ 県社会教育委員連絡協議会の今後の予定

県研修会 8/29(月)オンライン開催(倉本委員)

地区研究会① 11/24(木)愛川町(森委員・仲田委員・是枝委員)

県公民館大会 1/20(金)相模原市(堀委員・山口委員)

地区研究会② 2/15(水)箱根町(山口委員)

・ 第62回関東甲信越静公民館研究大会茨城大会

10/27・28 オンライン開催(10/28分科会で寒川町民センター発表)

【委員】ひとつ情報提供です。ご存じの方もいるかもしれませんが、8月9日の神奈川新聞に載っていたのですが、厚木市で公民館を活動の拠点にということで、市の社会

教育委員会が地域学校協働本部で提言を教育委員長に提出したという記事が載っており、厚木市内の今後の小中学校教育について、地域とのつながりを一層深めるために、公民館を地域の拠点に位置付け、学校と地域のパイプ役となる地域学校協働推進員を各学校に配置すべきなどとする提言書を出したということです。文科省では地域ぐるみで子どもを育成する地域学校協働活動を提唱しているということで2017年に関連の法案が整備され、厚木では学校運営協議会制度というコミュニティスクールを全小中学校に導入しているそうです。今後の提言として推進員の配置に加えて、学校と地域のネットワーク化に向けて公民館を地域学校協働本部に位置付けることが盛り込まれているということです。とりあえず2箇所モデル地域に指定をして、いろいろ情報をつかむということで、一つは南毛利地区の毛利台小学校、「レッツラジオ体操のつどい」を行ったそうです。子ども会活動の縮小に伴って、朝のラジオ体操の参加者が減っていて、小学校から休みで生活リズムが乱れて、2学期に入ると遅刻してしまう子どもが増えているという話から子どもたちの生活リズムを取り戻してもらう活動をしているということが出ていました。それとたまたま先般、北部公民館で打合せをしているときに東海大学の体育学部の学生が多世代交流型健康体操教室を開きたいということで、資料をいただきました。地域の子どもと一緒に体操などをしましょうということを北部公民館で65歳以上の運動制限のない方を9月4日から4回教室を開くそうですが、これは卒論テーマのようです。これを聞いて、考え方はいいと思うのですが本当に集まるのかなと思いました。

【指定管理者】 ポスターは貼りましたがどうやって人を集めようとしているのか、そのことは学生さんにも話しました。

【委員】 私もチラシをいただきましたが、これではどうかなと思いました。

【事務局】 寒川町内に在住の方ですか。友達とか口コミで広がらないですかね。

【委員】 地域の子ども達とやりたいと言うのは良いことなのだけこのタイミングで持ってきて集まるのかと思いました。

【指定管理者】 部屋の貸し出しはしましたが、人を集めるのはそんなに簡単ではないよとは伝えました。

【委員】 そういうことでも公民館を使いたいということはいいことだと思ったので、紹介しました。実際にできたのか聞いてみたいです。要は健康寿命を延伸するために認知機能を健全に維持することがポイントで、運動することを習慣的に行うことが必要ということで子ども達とやるというのをひとついいのではないかとということが卒論テーマのようです。子どもお年寄りと一緒にということは良いとは思いますが、そんな短期間に人は集まるだろうかと思いました。こういったことで大学生が使いたいというのはいいと思うので、なんとかできればいいのですが。ポスターは普通の掲示板に出ていますか。

【指定管理者】 北部公民館の外の掲示板です。町の掲示板は許可のシールをもらわないと張れませんので。

【委員】 北部公民館の外の掲示板だけで集めるというのは情報提供にしてもちょっと少ないと思いました。幅広く情報提供することが必要です。

配付資料	資料1 令和4年度寒川町社会教育委員会議 公民館部会 名簿 資料2 令和4年度6・7月分町民センター・北部公民館・南部公民館事業実績 資料3-1 平成30・令和元年度公民館部会協議事項報告 資料3-2 令和2年度公民館部会協議事項報告 資料3-3 令和3年度公民館部会協議事項報告 資料4 令和3年度公民館事業実績（分野別） 資料5 令和4年度寒川町社会教育委員会議日程（R4年8月16日時点）
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	・山口明伸 ・森 和彦 (令和4年12月28日確定)